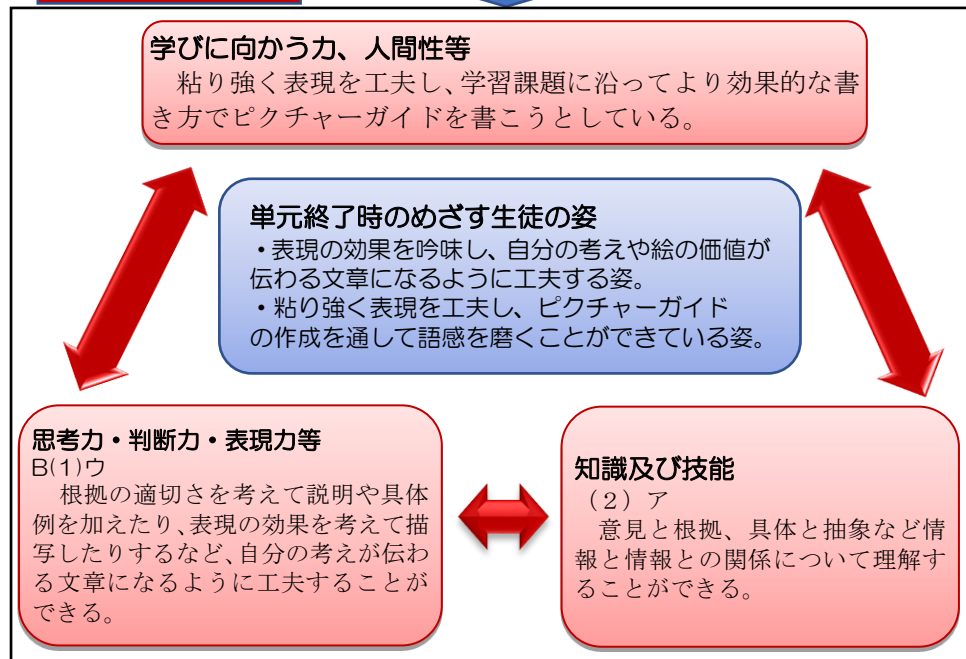


問題 絵のもつ価値を読み手に効果的に伝えるためには？

この単元と関連した領域の付いている力(◆)
 書くこと〔小学校5・6年〕
 ◆ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
 ◆オ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。

書くこと〔中学校第1学年〕
 ◆ウ 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。
 ◆オ 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。

本単元の目標



この単元からつながっている領域の力(◆)
 書くこと〔第3学年〕
 ◆ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。
 ◆オ 論理の展開などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。

生徒の実態と指導観
【生徒の実態と学びの系統性】
 ・生徒の実態…R3高知県学力定着状況調査より、現2年生の結果は、1年思判表B(1)ウ「自分の考えを明確にして書いている」全国正答率+13.6に対して、「根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している」全国正答率-3.8となっている。また、R4標準学力調査において、1年思判表B(1)ウに関する問題は全国正答率+8.2となっている。これらの結果から、自分の考えを明確にして書く力はあるが、根拠を明確にするという点において弱さがあると考えられる。
 指導観…「書くこと」だけに関わらず、「読むこと」でも根拠がどこにあるか、また、なぜ根拠が明確であるといえるのかなどを読み取り、自分の考えを書く場面を設定している。1年では、資料を引用してレポートを書くことで根拠を明確にして書くことをしているが、今回の授業では、歴史的背景等を根拠として社会科と横断的に取り組むことで、根拠が明確であれば、より伝えたいことが効果的に伝えられることを確認し、ピクチャーガイドを作成していくことを言語活動として設定した。

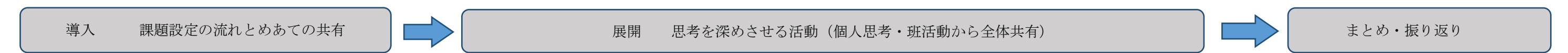
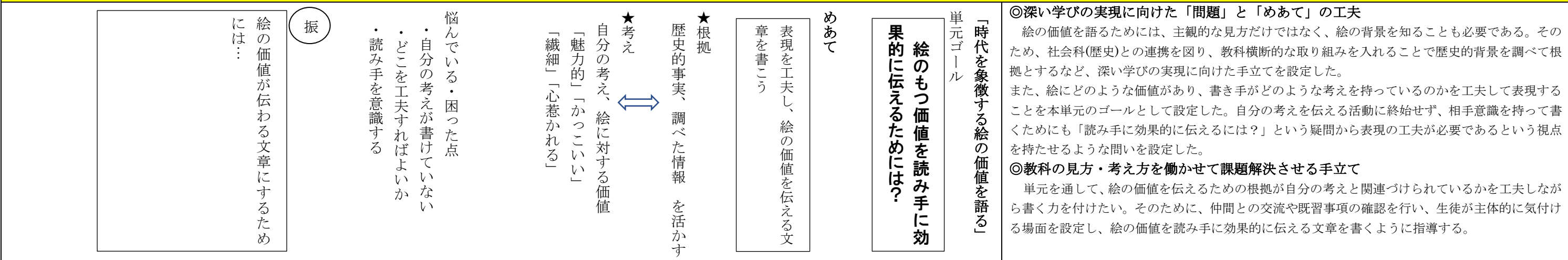
言語活動 時代を象徴する絵の価値を語るーピクチャーガイドを作ろう

言語活動	学習過程	学習活動	評価規準(指導事項) 評価方法等
生徒が働かせる見方・考え方 比較を通して情報と情報の関係を整理する。 絵の価値を効果的に伝える視点に着目し、モデル文との情報を関連付けて文章を工夫して書いている。 根拠の適切さに着目し、自分の考えと歴史的事実や調べた情報を関連付けて文章を工夫して書いている。	ア 題材の設定、情報の収集	【第1～3時】 ①「富嶽三十六景 駿州江尻」(教科書p185)を見て、絵から分かる情報を整理する。 ②絵の価値を効果的に伝える視点に着目し、「君は『最後の晚餐』を知っているか」を読む。 ③歴史を象徴する絵について集めた情報を整理する。	知・技(2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 社会科との関連 「時代を象徴する絵を調べる」
	イ 構成の検討	【第4時】 紹介したい絵の価値が伝わる文章構成を考える。 ・伝える観点を付箋に書かせ、貼り直すなど文章の構成を考える。	
	ウ 考えの形成、記述	【第5時】 Google ドキュメントを用いてピクチャーガイドを作成する。 <u>ICTの活用</u> ・200字程度で作成する。 【第6時 本時】 絵の価値が伝わる文章になっているかを共有し、表現の工夫と効果について検討する。	書くことB(1)ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。
	オ 共有	【第7時】 助言を手がかりに見いだした改善点をもとに、読み手の立場になって文章を整える。 ・単元の振り返り 絵の持つ価値を効果的に伝えるには?(200字)	書くことB(1)オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。

単元末に目指す生徒の言語活動例

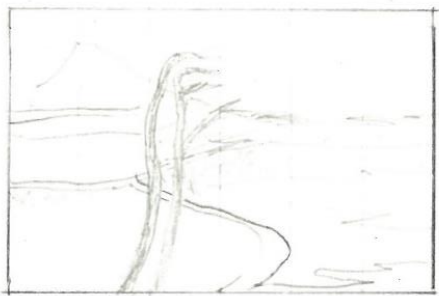
- ・しぶきをあげる荒波を描いた1枚の浮世絵。これは江戸時代を象徴する画家、葛飾北斎の「神奈川沖浪裏」である。江戸時代初期から中期にかけて発展した浮世絵文化には、旅をテーマにした作品が多く描かれている。町人文化の発展による平和な暮らしが続く中で、旅をしてみたいというあこがれの思いも風景画を魅力的に感じさせている。まるで富士山が人々を見つめているような構図も見者を惹きつけている。(197字)
- ・この水墨画は雪舟によって室町時代に描かれたものです。室町時代の中期には貴族の力が衰え、武士が権力を握り始めました。そうした混乱の中で貴族文化武士文化が融合して生まれた「東山文化」では「わび・さび」と呼ばれる落ち着いた雰囲気の商品が多く描かれています。水墨画の特徴である白黒の落ち着いた雰囲気が、貴族や武士という身分の違いを越えて多くの人に好まれたのではないのでしょうか。雪舟の水墨画には、混乱の世であっても人の心を落ち着かせる魅力があるのです。(223字)

【本時の目標】（本時 6/7時間）
【本時における言葉による見方・考え方】 根拠の適切さに着目し、自分の考えと歴史的事実や調べた情報を関連付けて文章を工夫して書いている。



<p>単元ゴール 絵のもつ価値を読み手に効果的に伝えるためには？</p> <p>①前時の確認 T: これまでの学習を振り返りましょう。単元ゴールについてこれまで学習した内容での気づきをペアで確認しましょう。 S: 相手意識が必要 S: 構図を入れること S: 興味を持ってもらえそうなことを入れる</p> <p>T: 今書いているみんなの文章は、本当に絵の価値が伝わる文章になっているでしょうか。 S: 友達に読んでもらってアドバイスが欲しい S: 自分では分からない</p> <p>T: 文章を書く時には読み手からの視点も大切ですね。今日は文章を共有しながら、より相手に効果的に伝えるための工夫をみんなで見つけましょう。</p> <p>②めあての確認</p> <p>めあて： 表現を工夫し、絵の価値を伝える文章を書こう</p>	<p>③ペアで文章を読み合う T: クロムブックを交換して、書いた文章をペアで読み合ってください。そのときに必ず気づきを付箋に書いて渡せるような読みをしてください。 ※ペアでの交流 読み終わったらクロムブックを相手に返し、付箋に書いたコメントを伝えてあげてください。</p> <p>④ペアの交流での気づきを共有する T: どのような気づきがありましたか。 S: 歴史的な背景がかかれていた S: 分かりやすく書いていた</p> <p>T: どのところが分かりやすかったのですか？ S: 相手のことを考えて書いていた S: 中学生にも分かる言葉で書いていた</p> <p>⑤課題や困りを共有する T: 書いていて悩んだことや困ったところはないですか？ S: 自分の考えが書けていなかった S: 読む人のことまで考えていなかった S: どこを工夫すればよいか分からなかった</p> <p>⑥班で交流する T: 困っている部分について、みんなの意見をもとに解決できれば、さらによい文章になりそうです。ではどうすれば絵の価値がさらに伝わるか、班の中で共有しましょう。 一番価値の伝わる文章を選び、良かった点をホワイトボードに書きましょう。</p>	<p>⑦共通点を確認する T: 良い文章の人達の共通点はどこでしょう？ S: 構図について書けていた S: 絵に込められた物語を想像していた S: 絵を見なくなる表現があった</p> <p>T: どんな表現がありましたか？ S: 見たままではなく、感じたことを言葉にしていた S: 歴史とのつながりや初めて知る情報があった S: インパクトのある言葉があった</p> <p>T: どんな言葉ですか？ S: 「カッコいい」 S: 君は「最後の晩餐」を知っているかで学習したような、例える表現を使っている</p> <p>T: 「言葉」や「表現」がキーワードで出たので、教科書のp185をもう一度確認してみましょう。</p> <div data-bbox="1543 1459 2240 1659" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>p 184～185</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の魅力を効果的に伝えるには ・感じたことを表す言葉 <p>既習事項を再確認し、自分の文章を見直す視点をもたせる</p> </div>	<p>⑦自分の文章を見直す T: 班で確認した良い文章の共通点や、これまでの学習を踏まえて、自分の文章を読み返し、ノートに改善点を書きましよう。 S: 絵の情報が少なかったのもう少し調べたい。 S: キーワードも入れて書きたい。 S: 必要のない情報があったので削りたい。 S: 例える表現を使って読む人に分かりやすく伝えたい。 S: 文末を工夫して問いかけなどを入れる。</p> <p>⑧振り返りを書く T: 次回は改善点をもとにピクチャーガイドを完成させます。今日のめあてに対して、振り返りを書いてください。</p> <p>⑨振り返りを共有する T: 振り返りを発表してください。</p> <div data-bbox="2270 1396 2864 1743" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵を見たいと思えるような表現になっていなかったの、新しい情報を入れることとインパクトのある言葉を使って次はもっといい文章にしたい。 ・どこを工夫すればよいか分からなかったが、友達の意見を聞いて、問いかける表現を入れるなど工夫した。 ・必要のない文章が多くて長い文章になってしまった。根拠となる情報をしぼって伝わる文章にしたい。 </div>
<p>〈指導上の留意点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題や前時までの復習との関連から、本時のめあてを設定する。 ・交流時の注意点を視覚的に示す。（ICT活用） 	<p>〈指導上の留意点〉</p> <p>困り感のある生徒を中心に机間巡視を行い、学級全体で共有できるように意図的指名を行う。</p>	<p>〈指導上の留意点〉</p> <p>友だちの考えを聞いて変容した最終的な「自分の考え」をノートに記述させる。</p>	

評価規準：【思】 書くこと B(1)ウ
根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。



葛飾北斎
 『富士三十六景 駿州江尻』
 。富士山がもう木で覆われているのね。この絵の
 もとにはななな時期が朝方で、霧りがかか
 っていたからよく見えな。富士山の色も
 目につけることができてきたからたかたかと思
 います。

価値を伝えるためには、

葛飾北斎
 『富士三十六景 駿州江尻』
 江戸時代
 少ない色
 余白らしさ
 寒色

両務？たすとすると早朝？
 全体的に白い所が多い

富士山に色がついていないのは遠くにあるということ表現した
 のかと思いました。

沢山の人が行き通う道に強風が吹き、物が沢山飛ば
 される中、それを見守るようになろう、すらとたた
 ずむ白富士の姿を表している。

良さを「すごい」
 日本らしさ

葛飾北斎
 『富士三十六景 駿州江尻』
 この絵を見て私は風の強さが表現できていいなと思いました。紙や
 ぼつだけだけでなく周りの草も一本一本なびいているように見えます。
 また、人がぼつしをおさえていることから風が強いことがわかりました。
 富士山に色がついていないのは遠くにあるということ表現した
 のかと思いました。

私は見たときに日本ほいなという感じしました。外国
 なら油絵など多くの絵を使って濃く描いているもの
 が多いけどこの絵は寒色でささえて余白を余らす
 ところに日本らしさを感じました。

『富士三十六景 駿州江尻』 葛飾北斎	疑問
富士山を北背景に百姓の日常が描かれている。	なぜ富士山はめ
いっけん主役に見える富士山に色をぬらさ百姓や田人	らゆていないのか
ほに鮮やかな緑で表現されていることで作者が伝えたい	・余白があまって
百姓のようすがよりよめだっている	いるところに日本
作者が江戸時代末期に活やくした葛飾北斎である	らしさを感じた
ことから、化政文化の一つであると考えられる。	
全体的に簡潔にかかれていいるように感じる	

僕がこの絵を見たときに、不思議に思ったことがあり
ます。それは、木の葉や草を一枚一枚でいかに描いているの
に、遠いところは色をぬいでいたり、何も描いていなかったりして
いるので、また未完成なのかと思いました。富山獄三十六景は富
士山のことについてなのに、どうして紙に大きく富士山を描かすに
遠くに描いて歩いてくる人を近くに描いたようにしたのか不思議
に思いました。

描いて

〈感想〉

この絵には草や人以外にはあまり色がついておらず、日
本、ぼいそぼく+が感じられます。また、この時代には鉛筆など
なく、筆だけで描いたと考えると、草の形や人の描
かれ方からどれくらい強い風が吹いているのかがよく伝わってくるな
と思えました。

問：絵の価値を伝えるには...

有名な

はくが升たえは本、はくさいんのやいた、ふがくさ
んじゅうのけいのすんじゅうえじりでこのえははくさいこ
んが江戸時代にかたもので、絵は色をつかいて全
体をあつめてこのえは、少ない色をつかいて表現
している。このえのよとあつた、色の使い方も
うまい、表現がとて上手だと思えた。

日本らしさをかんじた。

とすことだと。

絵から必要は情報を読み取る。

富山獄三十六景が描いた絵で、名前の富山獄三十六景
駿州江尻です。富田山かあえて、人が歩いてい
るのが特徴です。
・江戸時代 良さ、すこい 少ない色 日本らしさ
余白をいして 空の色

読み手の立場に立て、語句や表現をみること。

ふり返り

絵から感心相手を書いたときに、見たままを
かいたら、短い文になったりしたので、何をか
いたらいかに分かるようにしたのを、次は、そ
れ以外もかけるようにしたいです。

2年代

葛飾北斎

富山獄三十六景 駿州江尻

風がふかえながら長キヨリの移動をして大変そ
うななと思えた。